



学習方法を改善して、次のテストで効果を確認しよう の巻

夏休み明け早々に行われた前期期末テスト、さらに学力推移調査、お疲れさまでした。まずはしっかり復習をしていきましょう。また、次回のテストに向けて、学習方法で改善できるところを考えていきましょう。



Check!
01

英語の平均点を取れた人と取れなかった人の違いのひとつ

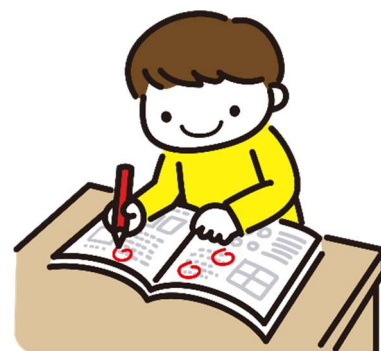
前期期末テストを返却したあとに提出物をチェックしていて、気が付いたことがありました。全員がそうだというわけではないのですが、点数が思ったほど取れなかった人の提出物には一定の傾向があったのです。それは……

①なぜかやっていない問題がある

- ・なぜか1問だけ or 大問1つ分だけ抜けている(後回しにして忘れてる?)
- ・ページごと抜かしてしまう(繰り返し取り組んでいけばそんなことはないはず…)

②丸つけ・答え合わせがきちんとできていない

- ・答え合わせをせずに提出している(何のためにやってるの?)
- ・ページの一番上などに一か所大きく丸を付けているだけで、一問ずつ確認されていない(ので、間違っているのに直されていない)
- ・できなかった問題の直しをしていない(×をつけて終わりにしている)
- ・つづりが間違っているのに○になっている(まだ英語のスペルに不慣れで仕方ないのかもしれませんが…)



思い当たる節はありませんか。テストでも、「抜けがないかよく確認をする」ことは大切です。答え合わせも1問ずつ丁寧にチェックしないと「できなかった」ところがわからないですし、「できるようにする」ことにつながりませんよね。普段の自主学習から気をつけて行くと、伸びが早いと思います。

そしてこれは、どの教科にも言えることです。応用してってください。

Check!
02

テストが最後まで解き終わらない? 普段の学習で対策を!

学力推移調査では、最後まで問題が解き切れなかったよ!という人もいたと思います。

テストの全体を見通して時間配分を考えることも大切ですが、それ以上に大切なのは、毎日の自主学習の中で「速く正しく判断できる」ようにスピードをあげていくことです。

速く正しく判断できるようになると、「時間をかけずに答えられる問題」ができ、時間をかけるべき問題に時間を配分しやすくなります。時間がかかる問題を解く際にも、思考の効率がぐんと上がります。

ではどう勉強したらよいのでしょうか。頭の中に入れた知識を使って「アウトプット」してみることが、知識の定着には有効です。だから、自分で小テストをするつもりで問題集に取り組んでみるとよいですね。その際に、時間を気にしてみましょう。目標時間を決めてみるとか、何度も取り組んでみて時間をどれだけ短くできるか計ってみるとか。繰り返すことで判断スピードが上がってきますよ!

なお、これはテスト直前だけでなんとかなるものではないので、部活の練習と同様コツコツやりましょう。朝自習の時間などに、友達と競うのもアリですね!





学習方法を改善して、次のテストで効果を確認しよう の巻

夏休み明け早々に行われた前期期末テスト、さらに学力推移調査、お疲れさまでした。まずはしっかり復習をしていきましょう。また、次回のテストに向けて、学習方法で改善できるところを考えていきましょう。



Check!
01

テストが最後まで解き終わらない？ 普段の学習で対策を！

◆学力推移調査では、最後まで問題が解ききれなかった人もいましたね。理由を考えてみました。

(1)問題が難しく感じる……！

確かに難易度高めの模試ではありますが、基礎基本の問題もあります。そういった問題は確実に正答したいもの。
普段から、基礎基本にあたる問題をたくさん解いていきましょう。

基礎基本がキッチリ身につけば、実は応用問題の糸口も見えてきます。野球やバレーボールなどのプロや日本代表の試合を見ていると、素晴らしいスーパープレイが飛び出すことがありますね。それは競技の基本的な動きがしっかり身についたうえで毎日のさまざまな練習を積み重ねているからこそ、とっさに反応できるもの。勉強でも同じことです。たとえば、数学の図形の性質の基本的な使い方がしっかりできてこそ、応用問題でどう使えばよいかが見えてくるようになり、ひらめきが生まれるのです。

応用ができないと思っている人は、自分で思っている以上に基礎基本が曖昧な状態です。
急がば回れ！ とことん基礎基本をやりつくしてみましょう。



(2)一問一問丁寧にやっていると時間が足りない……！

テストの全体を見通して時間配分を考えることも大切ですが、なにより大切なのは、毎日の自主学習の中で「速く正しく判断できる」ようにスピードをあげていくことです。速く正しく判断できるようになると、「時間をかけずに答えられる問題」ができ、時間をかけるべき問題に時間を配分しやすくなります。時間がかかる問題を解く際にも、思考の効率がぐんと上がります。

普段の自主学習の際、自分で小テストをするつもりで問題集に取り組みますよね。その際に、時間を気にしてみましょう。時間の目標を決めてみるとか、何度も同じような問題に取り組んでみて時間をどれだけ短くできるか計ってみるとか。繰り返すことで判断スピードが上がってきますよ！
実は、(1)の基礎基本でこそ、このスピードを上げる練習が大事！ そのためには圧倒的な量をこなすことも必要ですよ。



……となると、テスト直前だけでなんとかかなるものではないので、部活の練習と同様コツコツやりましょう。朝自習の時間などに、友達と競うのもアリですね！

ぜひ今日からの自主学習に取り入れて、2か月後の後期中間テストで効果を確認してみてください。

Check!
02

ハイレベル講座始まりました。悩んでいる人は(教材購入もあるので)お早めに

9月からハイレベル課外が始まりました。迷っている人はぜひ飛び込んでみましょう！

なお、英語と数学では教材を購入予定です。学校を通さないと買えないものですので、申し込みはお早めに。



高校生活のスタートラインを今ここに引こう の巻

夏休み明け早々に行われた前期期末テスト、さらに学力推移調査、お疲れさまでした。
まずはしっかり復習をしていきましょう。また、次回のテスト、ひいては高校進学に向けて、
生活や学習を見直してみませんか。



Check!
01

高校受験がないから無敵モード？ 今やるべきことは何？

- ◆4期生を見ていると、一般の公立中学校とちがって高校受験がないからと、全体的にまったり過ごしている感じがします。中学校の部活も引退したし〜、時間がたっぷりできてゲーム三昧〜。
いやいや、ちょっと待って！ あと半年ちょっとで高校生活が始まるんです。入試を乗り越えてきた新たな仲間たちとの切磋琢磨が始まるんです。入試を受ける中学生たちは、中学で学んだことを総ざらいして、すでにスタートを切っています。みなさんはどうですか？
- ◆もちろん、先のことを見据えて動いている人もいます。でもまったり〜な人もいますよね。ちょっと周りを見回してみませんか。そして、どうせなら今ここに、高校生活のスタートラインを引いてもらいたいです。今回の期末テストの結果や学力推移調査の自己採点をもとに、苦手は改善して得意は伸ばす、そんな学習をしていきませんか。

Check!
02

応用問題ができないという人は、基礎基本を徹底しよう

もっと



- ◆「学推に出てくる応用問題がわけわからないんです」という人、いますよね。
そういう人は実は、自分で思っている以上に基礎基本が曖昧なのです。
認めたくないかもしれませんが、そうなのです。
- ◆例えば、「基本問題」といわれている問題を見て、パッと正解への道筋が思い浮かびますか？ 時間をかけて考えればできる、となっていないですか。それでは基礎基本が「わかっている」かもしれませんが「できている」とはいいたいのです。

そこが「できている」状態になると、思考の効率がぐんと上がります。応用問題の糸口もつかみやすくなります。
そのためには、圧倒的な数をこなしていくことが必要です。時間をかけて考えなくてもパッとできるくらいに数をこなしましょう。そうなれば、自然と解答スピードも上がっていきます。

- ◆国語や英語もそうです。言葉の意味がわかり、使いこなせるようになるためには、普段から口にしたり書いてみたりが必要です。日本語でも新しく知った言葉はどんどん日常で使ってほしいですし、英語も同様です。スピーキングなら「(じっくり考えれば)なんとか言える」ものを「(考えなくても)パッと言える」レベルにすること。リスニングも同様で、「(何度もじっくり集中して聞けば)わかる」ものを「(考えなくても)わかる」レベルにすること。そのためには、練習の量が求められます。

- ◆それだけの量をこなすとなると、これはテスト直前だけでなんとかするものではありません。

部活の練習と同様コツコツやりましょう。朝自習の時間や休み時間などに、友達と競うのもアリです！
苦手なものがある人ほど、愚直なコツコツ努力で伸びます。そして今がそのラストチャンス。自ら動いて
掴んでください！

コツ/コツ

